



# かけはし

平成31年3月1日  
 新宿区立東戸山小学校  
 校長 川崎 勝久  
 No. 1 1

## 「開校70周年に向けて」

校長 川崎 勝久

3月といえば桃の節句。桃の節句は中国から伝わった五節句の内の一つで、漢名では上巳の節句（じょうしのせつく）と言います。上巳の節句では、厄除けの力があると言われ、桃のお酒を飲んだようで、日本でも桃が災いを遠ざける力があると信じられ、3月3日は桃の花が咲く季節であったことから、桃の節句と呼ばれるようになったと言われています。残念ながら東戸山小学校には桃の木はありませんが、学校の周辺では梅の花を初めとして、多くの花が咲き始め、春を感じられる季節となりました。

さて平成30年度も残すところ4週間となりました。6年生はもうすぐ卒業です。2月22日に行われた6年生を送る会では、下級生たちの感謝の気持ちがこもった出し物と、6年生がそれらにうれしそうに答えるとともに、素晴らしい合奏を披露するよい会になりました。

3月は、リレーのバトンゾーンの月に当たります。6年生が在校生に東戸山小学校伝統のバトンを渡すのです。

6年生にとってバトンは重かったかもしれません。バトンを持っているので、走りにくかったかもしれません。しかし本当によく学校を引っ張ってくれました。でも渡し終えたからといって安心しないで、しばらくは走り続けて在校生の後ろから応援してあげてください。そして中学生になっても小学校のことを忘れないでください。

引き継ぐのは5年生を中心とした在校生です。なかなか6年生のように速く走れないかもしれません。でも在校生のみなさんなら大丈夫です。バトンをしっかり受け取り、伝統を守り継いできてくれた6年生に「ありがとう」の感謝の気持ちをもって、前に向かって走って行ってください。

東戸山小学校は、このようにして、よきバトンが綿綿と繋がってきました。2019年は、東戸山小学校創立から70年が経過した節目の年にあたります。9月28日（土）の開校記念式典の日を中心に、子どもたち、保護者、地域の方々とこれまで続いてきた東戸山小学校の良さや伝統、これからの未来のことを考えていく1年にしたいと思います。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様方には、本年度も、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございました。2019年度もよろしくお願いいたします。



## 【3月行事予定】



1	金	・安全指導日 ・中学校体験入学(6年)	
4	月	・全校朝会 ・言語指導(若草)	SC
5	火	・巣立ちの会(6年) 1~5年は下校 13:10	SC
6	水	・体育朝会 ・校外学習「浅草見学」(4年)	
7	木	・体験学習「七輪を使って」(3・4年)	
8	金	・保護者会(若草)15:00~ ・お別れ会(若草)	
10	日	(箱根山駅伝)	
11	月	・全校朝会	SC
12	火	・社会科見学(4年)	
13	水	・児童集会	・委員会⑫
14	木	・まなびの教室個人面談	
15	金	・リレヰック・パヰリヰック出前授業 「ラグビー」(3・4年) ・出前授業「馬頭琴」(2年)	
18	月	・全校朝会	下校 14:30 SC
19	火		下校 14:30 SC
20	水	・給食終	・大掃除(13:00~13:30)
21	木	= 春分の日 =	
22	金	・修了式 (給食なし) ・卒業式予行	1~3年は下校 10:30 SC 4~6年は下校 12:20
25	月	・卒業式	
3/26(火)~4/5(金) 春季休業日			
2019年度(平成31年度)【4月】			
5	金	(新6年 9:10登校、新2年 10:30登校)	
8	月	・始業式 ・入学式(10:30~)	3~5年は下校 9:30 1・2・6年は下校 12:00
9	火	・安全指導日	・給食始(2~6年)
10	水	・発育測定(全学級)	

※3月の避難訓練は、予告なしで実施します。

### 【お知らせ】

小針 尚美 主任教諭 が、3月1日から産休に入りました。担任代理として、菊池 いずみ 教諭 が、2年1組担任となります。よろしくお願いいたします。

2019年度の1学期当初の主な予定等をお知らせ致します。

1学期始業式・入学式 4月8日(月)

1学期保護者会 1年,3年,5年,若 4月12日(金) 2年,4年,6年 4月16日(火)

運動会 5月25日(土) 学校公開・学校説明会 6月22日(土)24日(月)25日(火)

詳しい来年度の学校経営方針・行事予定等は4月の保護者会で説明致します。



## 各教室から



### 6年1組

本当にあっという間の1年間でした。みんなで大  
くさん笑いましたね。本当に楽しい毎日でした。また、  
最高学年として様々な場面で活躍する姿が印象  
的です。その中で、一人一人の大きな成長を感じま  
した。4月から中学生となりますが、みんななら絶  
対に大丈夫！ヒガトの卒業生として誇りをもち、新  
たな目標に向かって頑張ってください。新天地での  
さらなる活躍を楽しみにしています。

### 6年2組

4月から最高学年としての役割をそれぞれ果た  
してきた1年間。5年生に引き継ぐ縦割り班でのク  
リーン活動では、しっかりとサポートしながら活動  
をし、次のリーダーを育てる姿に成長を感じまし  
た。6年生を送る会やお別れ給食では、下学年と楽  
しそうに交流をして、最後に笑顔の6年生との思い  
出を残してることができました☆その笑顔で中  
学校でも大いに活躍することと思います！

### 4年1組

4年1組は、なんでも一生懸命に取り組むクラス  
です。  
先月の「6年生を送る会」「2分の1成人式」で  
は、実行委員を中心に自分たちで企画内容を考え  
て、どんどん準備を進めることができました。  
あと、1か月で高学年です。これから、どのよう  
に東戸山小学校を引っ張っていく存在になるのか、  
今から楽しみです。

### 4年2組

笑顔が絶えない2組です。最近の合言葉は、「次  
は高学年」。「次は高学年だから、しっかり話を聞  
こう。」「次は高学年になるから、周りを見よう。」そ  
んな言葉が活動していると聞こえてきます。  
様々なことを見て、感じ、考え、学んだ1年間  
でした。学習の仕方も身に付き、自主学習の内容にも  
深みが増してきました。みんなの高学年としての活  
動がとても楽しみです。

### 《編集後記》



今年度も学校だより  
「かけはし」をご覧いた  
だきましてありがとうございました。校内の行事・出  
来事・児童の日頃の様子  
などをお伝えできたこと  
と思います。何かお気付き  
の点などございましたら  
お知らせください。

(編集担当)

### 5年1組

よく学びよく遊び、またよく遊び…、充実の1年  
でした。42名と大所帯のクラスでしたが、何事にも  
一致団結し、まとまりのあるクラスでした。そして、  
何より、よく笑っていた印象の強い1年でした。  
春から始まる次の1年は、これまで以上にかけが  
えのない時間となるはずですよ。そんな時間を過ご  
せるみんなを、今は、ただただうらやましく思います。  
新たな1年は、みんなの強い思いや願い、そして、  
努力や行動で、どんな形にでも変えていくことがで  
きます。自らの手で最高の1年を創ってください！

### 若草4組

号泣する5年生の肩に手を伸ばし、優しく声をか  
ける6年生。6年生を送る会終了後の、教室での一  
幕です。微笑ましく眺めながらも、「本当に卒業し  
てしまうんだ」「もっと一緒にやりたいことがある  
のにな」と、こちらも寂しさがこみ上げてきまし  
た。5年3人、6年4人、全員男子の若草4組。良  
い意味で騒がしい、楽しい教室でした。残りわず  
かな時間、仲間と共に過ごせる喜びを感じながら過  
していきます。

### 若草2組

ある道徳の時間のことです。整理整頓の大切さ  
について学習をしました。自分の机やロッカーを整理  
した後に靴箱へ。自分の靴を整えて、せっかくだ  
からと若草の友達の靴も整理し始めたら、教師が何  
も言わないうちに隣のクラス、そのまた隣のクラス…  
とどんどん進んでいって、最後は全校約300人分  
の靴を9人で整えてくれました。その時のすっきり  
気持ちよさそうな顔で子どもたちが自分で大切な  
ことを学んでくれたことが伝わりました。

### 若草1組

入学時は11名でスタートしましたが、転出児童  
がおり現在は10名で3学期を終えようとしてい  
ます。自分で出来ることが増え、全員が自信を大き  
く伸ばした1年間だったと感じています。  
現在は自分たちで作った日めくりカレンダーで  
「あと〇日」と毎日カウンドダウンをし、進級す  
ることへの期待を日に日に膨らませています。  
2年生として、1年生を優しくリードできること  
を期待しています。

是非、本校のホームページをご覧ください。

<http://www.shinjuku.ed.jp/es-higashitoyama/>

### ☆繋げる大切さ。家庭での防災対策も☆ (生活指導主任)

今年度も学校教育にご協力いただきまして、ありがとうございます。今年も避難訓練な  
どを通して、子どもたちは災害が起きたときの自分の命の守り方を学ぶことができました。

さて、東日本大震災から間もなく8年が経ちます。大きな揺れに恐怖を感じ、どうやっ  
て目の前の子どもたちを守ろうかと、必死になって考えたことを、今もまだ昨日のこ  
とのように覚えています。しかし、時が経つごとに人の記憶は薄れていきます。また、あの恐  
怖を自分の言葉で話せる子どもも、小学校でも少なくなりました。風化させないためにも、  
経験したことを伝えていき、【繋げる】ことが大切です。いつ起こるか分からない災害だ  
からこそ、各家庭でも「こんなとき、どうする？」と問いかけてみてください。そして、  
「こうするといいね。」と対策も話し合ってみてください。